

症状に合わせた“低侵襲治療”で 一步先行く革新的な医療を提供

Health&Beauty
素顔
～第22回～

「身体への負担が少ない手術による治療（低侵襲治療）」と「医療の見える化」を実践し、国内トップクラスとなる年間1,300件以上の脊椎内視鏡下手術を行う岩井整形外科内科病院の稲波弘彦院長は、2院目となる腰・膝の専門病院「稲波脊椎・関節病院」を7月21日に開院した。新病院の取り組みについて伺った。

7000件を超える医療データ オープン化で医療発展に寄与

国内トップクラスの脊椎内視鏡下手術数を誇る「岩井整形外科内科病院」ですが、稲波弘彦院長はなぜ2院目となる新病院を設立されたのでしょうか？

稲波 岩井整形外科内科病院では年間1300件以上の脊椎内視鏡下手術を行っており、さらに膝の手術も合わせたら1500件を超えます。

このように、病院のキャパシティが限界になったことに加え、東京以外の地域から来る患者数も全患者の約50%を占めることから、交通の便の良い東京・東品川に新病院を開院しました。

——新病院の特徴についてお聞かせください。

稲波 まず、「自分自身が受けた医療を提供する」ことです。的確な原因診断を行い、患者一人ひとりの症状に合わせた多くの治療選択肢を提示しています。また、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症等の腰痛の悩みを持つ患者に対しては「低侵襲治療（脊椎内視鏡下手術やレーザー治療

等）」を数多く実践しています。

——厚生労働省の調査によると腰痛で悩む人は推計で2800万人。また高齢化社会によるロコモティブシンドローム対策が今後の課題とされています。そういった状況下において、「低侵襲治療」の役割、そして可能性について教えてください。

稲波 身体へのダメージが少なく、早期に社会復帰することができ「低侵襲治療」は一步先行く革新的な治療法だといえます。従来の手術よりも傷も痛みも少なく、手術時間も半分から3分の1程度の短時間で済みますので、高齢の患者であっても手術適用が可能です。ですから、日本全国はもとより海外からも多くの患者が来院しています。

——ところで、腰痛の原因ですが、未だ解明しきれていない状況があります。精神的な部分も大きいとされる腰痛について、稲波院長はどのような見解をお持ちですか？

稲波 確かに、精神的な部分からの



稲波脊椎・関節病院 院長
稲波 弘彦 氏

●いななみ ひろひこ／プロフィール

東京大学医学部医学科卒業、東京大学医学部整形外科学教室入局、都立墨東病院三井記念病院虎の門病院等に出向、平成2年岩井整形外科内科病院院長就任。2015年7月21日、腰・膝の新専門病院「稲波脊椎・関節病院」を東品川に開設。

●日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医、日本脊髄病学会指導医、日本医師会スポーツ医、労働衛生コンサルタント

次号予告

●機能性素材特集

「アスタキサンチンの現在地」

- ・最新エビデンスデータで見るその機能性
- ・専門家に聞く機能性素材としての魅力

●検証「健康・美容商品関連法規」

- ・景品表示法、特定商取引法、健康増進法など
- ・違反事例から読む法遵守のポイント



「稲波脊椎・関節病院」

■住所：東京都品川区東品川3-17-5

■TEL：03-3450-1773

■URL：http://www.iwai.com

■診療科目：＜整形外科＞脊椎（頸椎・腰椎・胸椎）／関節（ひざ・股関節）＜内科＞放射線科＜リハビリテーション科＞＜麻酔科＞

■診療日：月曜～土曜日（土曜：午前のみ）

■休診日：日曜・祝日・土曜午後

痛みがあることは事実で、そういった方に対して外科的な治療をしても良くならないばかりか、結果的に悪くなってしまうケースもあります。ですから、精神的なものかどうかを見極める「診断」もとても大事です。当院ではたくさんさんの質問票などを用いて、多面的に患者を診断し、一人ひとりに合わせた治療を行っています。今後は心理療法士を招いた治療も視野に入れ、医師・スタッフ全員が患者の精神面でのサポート体制を整えていきたいと考えています。

——稲波院長は「医療データは公共財である」との考えから、手術のビデオ映像を始めとした医療データを開示し、また他の研究者に役立ててもらおうと考えています。

稲波 医療データの開示は、患者からの信頼度の向上だけでなく、医療の質、医師の技術レベルの向上、そして医療業界全体の発展に繋がると考えます。実は、院内ではデータ開示に対して否定的な意見があったのも事実です。当院の

強みである手術ノウハウをすべて公開するわけですから。しかし、クローズドのままではいけないのです。その思いに至ったのは、世界的経済学者の宇沢弘文教授が「社会的共通資本」（岩波書店発行）のなかで医療機関は営利企業ではなく、社会的共有資本であるべきと述べていたことにあります。病院として最も大事な医療データを公開し、多くの人々がそのデータを活用していくことで初めて本当の価値が生まれるのです。そういった思いから当院では7000件超の手術ビデオを始めとする医療データを開示していきます。これからも、常に革新的な医療を皆様に提供していきたいと、当院を世界一の病院にしていきたいと考えています。